

令和元年度 事業計画

[1] 総括

平成 13 年に診療放射線技師学校養成所指定規則が改正され、その 14 年後の平成 27 年には業務拡大に伴う教育内容および学校教育における単位数について見直しが行われ、93 単位から 95 単位に引き上げられた。この指定規則がまた改正される予定で、102 単位程度となり、内訳は、医療安全学 1 単位（増加）＋臨床実習 2 単位（増加）＋臨床画像学（科目の名称は未定）4 単位（新設）合計 7 単位増加し、OSCE（実習前の能力試験）は必須となることが予想される。おそらく次の指定規則改正は 10 数年後となることを考えると、是非とも 102 単位程度の単位数に決定されて欲しいと思う。現在医療施設で勤務されている診療放射線技師の方々の国家試験受験資格 93 単位であった時からすると 9 単位の差を生じることとなる。「業務拡大に伴う統一講習会」を受講された方々は 7 単位の差となる。今後、指定規則の改正で国家試験受験資格 102 単位（予想）となると、この差をどのようにして埋めていくか、昨年度に引き続き大きな課題となる。

次に（公社）愛知県診療放射線技師会（以下「当会」という）の活動計画について述べる。当会の会員数は平成 31 年 1 月 31 日現在 2,053 人で、昨年度と比べて 90 人の増加となっており全国で 2 番目に多い会である。1 位は東京都で 2,333 人である。組織率は、全国 54.8%、愛知 66.2%、東京 38.1%で全国的に昨年度より 0～4%下がっている。全体の新入会率が 30%程度であるので、組織率が下がったと考えられる。新入会率を上げなければ組織率は今後さらに下がっていきと予想される。女性会員数は、愛知 569 人、東京 572 人であり、当会は女性会員の比率が全国 1 位であり、20 代女性の会員比率が非常に高いことが特徴的である。当会としては、魅力ある講座、研修会、セミナーなどを開催して入会を促進させ、引き続き会員数全国 1 位を目標にしたいと考えている。また昨年度と同様に Cherish の会の活動にも力を入れ女性の活躍できるような環境づくりに努め、女性の会員数の増加に力を入れ、是非とも目標を達成したい。

例年通りの活動としては、地区放射線展、第 12 回県民公開講座、学術大会・研修会、各種セミナーなどの開催、地域の学術大会などへの参加、組織の充実・調査活動として実施したマネージャー・サブマネージャーセミナー・フレッシューズセミナーを開催し、世代別のセミナーを引き続き開催する予定である。Cherish の会、発刊事業、ボーリング大会の実施、ホームページの充実と被ばく相談については特に積極的に実施して行きたい。

さて、今年度も日本診療放射線技師会において様々な諸事業が計画されたりしているが、当会においても、冒頭で申し上げました診療放射線技師養成の指定規則の問題も含め、その動きと連携・協力して諸事業を展開していくつもり

である。さらに当会独自の諸事業も積極的に展開していくつもりである。

職能団体の大きな使命は、診療放射線技師資格の権利を守り、チーム医療が実践されている中で業務拡大を図っていくことである。それには診療放射線技師の業務を装置目線から患者目線に改め、国民からみえる、また患者に必要とされるような業務の見直しが必要だと考える。

会員各位には、診療放射線技師に関わる諸問題に十分に理解をいただき、当会が実施する諸事業に積極的に参加していただき、組織運営に絶大なるご支援とご協力をお願いして、以下の事業計画案を提案する次第である。

本定時総会において会員の皆様のご審議をお願いしたい。

令和元年度 事業計画

[1] 地域保健共催事業への参画

1) 地区医療放射線展の開催 (広報部)

各地域で開催される健康関連のイベントには、地区役員及び会員の協力を得ながら引き続き参加の予定である。各地での医療関連の催しについても本会作成のパネルの貸出や参加をし、地域住民の保健医療及び福祉活動にも積極的に関わり、放射線についての正しい理解と知識の普及啓発に加え、医療における診療放射線技師の役割や技師会組織についての理解も深まるようにしたい。しかし、最近の経済情勢により各地方自治体は健康関連イベント予算の縮小傾向にあり、その都度、柔軟な対応をする。

参加内容 医療放射線に対する正しい理解と知識の啓発

- (1) 医療放射線、医療被ばくに関するPRパネル展示
- (2) 各種臨床画像の供覧
- (3) 医療放射線に関する相談
- (4) 医療放射線検査のVTR放映
- (5) パンフレット〈医療用放射線Q&A〉の配布 等

(以下の行事は総て予定であります)

- ① 第30回尾西地区医療放射線展
(第33回一宮市民健康まつりへの参加)
- | | |
|-----|--------------|
| 期 日 | 令和元年9月上旬 |
| 場 所 | 一宮スポーツ文化センター |
| 対 象 | 一宮市民他 |

- ② 第20回西三地区医療放射線展
(刈谷市福祉・健康フェスティバルへの参加)
- | | |
|-----|-------------|
| 期 日 | 令和元年10月上旬 |
| 場 所 | 刈谷市総合保健センター |
| 対 象 | 刈谷市民他 |

他地区に於いても、要望があれば地域保健共催事業に積極的に参加していきたい。

2) レントゲン週間のイベント開催 (広報部)

第12回県民公開講座

期 日	令和元年11月
場 所	未定

11月のレントゲン週間にあわせて今年度も県民公開講座を開催する。

[2] 診療放射線技師の資質向上に関する事業

1) 学術大会・研修会の開催 (学術部)

科学技術の急速な進歩は医療機器・関連技術にも大きな変化をもたらす。医用画像関係の技術革新は著しく、多様化する医療現場において診療放射線技師の果たす役割と責務は一層重要となる。

患者さんはより高い医療と満足を求めて医療機関を選ぶようになりつつある。その中で診療放射線技師がどうあるべきか、医療人としての自覚と職業倫理が高揚できるような企画を考える。

期 日	通 年
場 所	会員の勤務する県内の医療機関・本会研修室等
内 容	(公社)愛知県診療放射線技師会学術大会 ・・・・・・・・・・1回 (第31回学術大会) (公社)愛知県診療放射線技師会研修会 ・・・・・・・・・・4回 (公社)愛知県診療放射線技師会寺子屋研修会 ・・・・・・・・・・2～3回
対 象	(公社)愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師

2) 調査研究活動の充実

愛知県放射線管理士部会と学術部との連携をとり、放射線管理に於ける調査研究を充実する。加えて、会員を対象に線量計の貸し出しを行う。

(公社)日本診療放射線技師会認定資格取得者の組織化及び活動の強化を目指す。

3) 共催事業

① 第22回さつきセミナー (学術部)

期 日	令和元年5月26日 (日)
場 所	名古屋市立大学病院 大ホール (名古屋市瑞穂区)
対 象	(公社)愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的	診療放射線技師の生涯教育における放射線領域関連技術の 講演会の開催

② 第19回サマーセミナーの開催 (組織調査部)

期 日	令和元年8月17日 (土)
場 所	電気文化会館(名古屋市中区)
対 象	(公社)愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的	診療放射線技師の属する職場の管理に必要な事項について の講演会並びに討論会の開催

③ 第30回診療放射線技師フォーラム (学術部)

期 日 令和元年11月14日(木)
場 所 未定
対 象 (公社)愛知県診療放射線技師会会員及び
愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的 診療放射線技師の生涯教育における放射線領域関連技術の
講演会の開催

④ 第20回新春セミナー(組織調査部)

期 日 令和2年1月中旬
場 所 未定
対 象 (公社)愛知県診療放射線技師会会員及び
愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的 診療放射線技師の生涯教育における初心者
の放射線領域関連技術、並びに全会員
のための全人的教育の講演会の開催

⑤ ANTs(学術部)

期 日 通年(4回を予定)
場 所 本会研修室
対 象 (公社)愛知県診療放射線技師会会員及び
愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的 診療放射線技師の生涯教育における核医学検査に関する関連技
術の習得及び最新の情報提供を目的とした講演会の開催

本会会員及び診療放射線技師の資質向上に寄与する共催依頼があれば積極的に共催開催する。

4) (公社)日本診療放射線技師会認定事業・セミナー等の開催(総務部)

本年も(公社)日本診療放射線技師会と呼応し、諸資格の認定講習会・試験、セミナーを会員の皆様の参加しやすい形態にて隣県との連携も考え、地方開催する。

平成27年4月1日の診療放射線技師法一部改正(業務範囲及び業務の実施体制の見直し)に対応すべく開催される講習会について引き続き本会も協力を進め今年度は6回の開催を予定している。

5) 地域の学術大会や研究会などへの参加

研究発表を促し、シンポジスト等の派遣の依頼にも答え、会員の学術研鑽や研修の場として活用できるよう積極的な参加を呼びかける。

- ① 第12回中部放射線医療技術学術大会
(令和元年度 第27回 中日本地域放射線技師学術大会・
第54回 日本放射線技術学会中部部会学術大会)

期 日 令和元年11月30日(土)・12月1日(日)
場 所 アクトシティ浜松(浜松市)
当 番 (公社)日本放射線技術学会中部部会
(公社)静岡県放射線技師会

② 第61回東海四県放射線技師学術大会

期 日 令和2年2月11日(日)
場 所 未定
当 番 (公社)岐阜県診療放射線技師会

6) 後援事業について

他団体が運営する医療関連の研修会・講演会などについて、本会の趣旨と合致するものについては、後援依頼があれば常務理事会に諮り後援する。

[3] 組織の充実・調査活動

1) 地区活動の推進(組織調査部)

各地区との連携を密にし、地区総会や研修会の開催など地区理事を中心とした地区活動の強化をはかり、各地区の住民に対しては医療放射線展などを通し放射線の安全管理についての知識の普及や啓発活動を行い、地域医療の発展向上に寄与する。

期 日 通 年
対 象 県下9地区
名古屋東地区、名古屋西地区、名古屋南地区、名古屋北地区、
東三地区、西三地区、知多地区、尾東地区、尾西地区

2) マネージャー・サブマネージャー会議の開催(組織調査部)

各施設の所属長に対して技師会に関する理解と協力を要請し、技師会活動の活性化を図るとともに、本会の基盤強化及び情報交換の場を提供したい。昨年度からマネージャー・サブマネージャー会議とし範囲を拡げ、各施設の管理職のみならず次世代を担うスタッフを対象としている。

(会議を通して技師会への入会と開催行事への参加を促進する)

3) Cherishの会(女性委員会)について

(公社)日本診療放射線技師会が主催している女性活躍推進の活動と呼応し、本会でも女性技師が活躍できる会を設立した。今年度も引き続き積極的な活動を進め、女性診療放射線技師の情報交換を通して職場で更なる活躍ができるような有意義な委員会としていく。

[4] 発刊事業(広報部)

通常総会をはじめ学術大会や研修会などの本会各種事業の案内、会務の報告、

福利厚生、地区活動、会員の移動状況その他の情報を伝える。

期 日	通 年
内 容	愛知県診療放射線技師会誌・・・・・・・・・・2回
	愛放技通信・・・・・・・・・・3～4回

[5] 会員親睦行事の開催（組織調査部）

ボーリング大会	
期 日	令和元年 秋
場 所	未定

[6] 県技師会研修室について

平成21年度に県技師会事務所の隣室を研修室として整備した。研修室は会議（理事会・各部会）・研修会・講習会の会場として利用されている。今年度も公益社団法人として診療放射線技師の技術向上を目的とした研修や再就職への技術習得の場として活用をしてゆく。また会員相互の研修会・勉強会などにも積極的な利用をお願いする。

[7] ホームページの拡充（広報部・組織調査部）

ホームページを通して今年度も本会の情報発信を行ってゆく。公益法人として県民への情報提供及び診療放射線技師をはじめとする医療関係者へ有用なものとなるようにしてゆく。適宜会議を開催しホームページの内容を拡充させる。

[8] その他

以上の基本的事業のほか、会員の福利厚生に関する事項や（公社）日本診療放射線技師会はじめ関係諸団体や賛助会員からの要請等については、弾力的に対応していく。